



保全活動計画案作成のワークショップ

一般社団法人 バードライフ・インターナショナル 東京

アジアの渡り性陸鳥の保全

一般助成

3年目

調査研究

中国でモニタリングと密猟
防止研修に参加した人数

約380人

絶滅危惧種の密猟防止活動
へのアジア各国の参加

11ヶ国

活動の全体目標に
対する達成度

75%

課題

渡り性陸鳥類の減少が知られてきたが、減少種や減少の程度、原因等については不明であった。情報不足を解消し、フライウェイに沿って減少種の保全を促進する。

目標

北東アジア地域において渡り性陸鳥の保護とモニタリングを進めるための国際協力システムを立ち上げる。特に中国においてモニタリングへの協力と保全活動への啓発を進め、アジアの他地域にも協力を促す。

活動内容

北東アジアの陸鳥モニタリング・スキームを立ち上げるため、ロシア、中国、韓国、日本の参加を得て、計3回の国際ワークショップを開催した。密猟対策として中国の湛江市(129名参加)、北海市(40名参加)、合肥市(150名参加)で研修及び会合を開催した。市民参加を促し、絶滅危惧種を含む渡り性陸生鳥類の保全計画案を作成するワークショップ(2016年11月)には、11カ国57名の参加があった。



陸鳥保全ネットワーク構築
(11ヶ国参加)

達成できなかったこと

農業が渡り性陸鳥類に及ぼす影響について検討予定だったが、テーマが大き過ぎて扱えず、別の事業での取組みを期することとした。

今後の展望

絶滅危惧種を保全するための活動計画を2019年までに策定。アジアで密猟対策促進のネットワークを確立。

成果と工夫したポイント



成果

ロシア、中国、韓国、日本の4ヶ国が参加する渡り性陸鳥モニタリング・ネットワークを構築し、8ヶ国へ拡充することで合意した。アジアの11ヶ国が参加する渡り性陸鳥類の密猟防止ネットワークを立ち上げた。

工夫

事業には4ヶ国が参加しているため緊密に連絡をとり、各国の社会的・文化的な背景に配慮しつつ進めた。